

Information 10

今回は、現代病でもある【肥満】についてのお話！

現在飼われている犬・猫の3頭に1頭が肥満&予備軍なのです…
その割合は、年々増加傾向にあります！！

肥満は、「**体脂肪が過剰に蓄積した状態**」と定義されて、
犬・猫の基準体脂肪率は15～24%とされています。
しかし犬猫の種類によって体格差があり基準値は異なってきます。

? 適正体重は?

個体差でハッキリは言えませんが、大きく分けて**2つ**見分け方があります。

① 1才の時の体重

子どもから大人になる境目のタイミングが1才。
成長期の間（特に6ヶ月齢頃まで）は食事をたくさん与えてOKですが、
1才を越えてからは食事管理をして体重を維持するようにします。
△ただ、診察時痩せ気味と言われた子は別！！

② BCS(ボディコンディションスコア)

見た目と体を触って判断する方法。BCSは1～5段階！

BCS 1	BCS 2	BCS 3	BCS 4	BCS 5
痩せ	やや痩せ	理想体重	やや肥満	肥満

適正スコアは3！

- ✓ 肋骨が薄い脂肪下に触れる
 - ✓ くびれがある
 - ✓ なたらかな輪郭・凹み
- 以上がチェックポイント！



環境省 HP から

肥満は**全身に悪影響**をもたらします。

*呼吸器疾患

→気管虚脱など

*循環器疾患

*運動器疾患

→椎間板疾患
→十字靭帯断裂



*膵炎

*糖尿病（特に猫）

*皮膚疾患

→マラセチア性外耳炎など

*泌尿器疾患

*腫瘍

→乳腺腫瘍

*肝リポドーシス（特に猫）

肥満対策はおうちで出来ることがたくさんあります！！

◇ 食事管理

決まった時間・量を計り・置きエサなし
これが**とても大切**。
おやつをあげたいなら食事を減らす



◇ 適度な運動&おうち遊び

犬ならお散歩にでかける。
おうち遊びも積極的に取り組むと
仲の良さもUP!

◇ 家族みんなで取り組む

しつけと同じで、**家族全員が統一**して
同じ事をしないと変わりません。
心を鬼にして、負けないように。



肥満は健康寿命が短くなるという研究結果も報告されています。

急に痩せさせるのは大変危険です！

当院では、ダイエットプログラムがあります。

徐々に体重を減らし**長い時間一緒に過ごせるよう**私達も協力します！

